

エンパワーするNGO



京都 YWCA

5
2025

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「対話」を通じて若者との信頼関係を築くために カルーナ公開講座 「対話と尊重の文化を作る～修復的対話実践～」

春の暖かさと冬の寒さが混じるような気候が続くなか、3月15日（土）に京都YWCA 自立援助ホーム「カルーナ」は関西セミナーハウス活動センターとの共催で公開講座を開きました。

今年は同志社大学心理学部准教授の毛利真弓さんに講師をお願いし、「修復的対話」をテーマに話していただきました。「修復的対話」の語源はRestorative Justice（修復的司法・修復的正義）で、犯罪被害者と加害者の対話など、大きなトラブルが発生する場合の葛藤の解決法と思われがちですが、学校をはじめ、人が育つ現場においてさまざまな形で修復的対話の実践が行われています。

当日は、会場29名、オンライン35名の計64名というたくさんの方々に参加していただきました。最初に、修復的対話とはどのような実践の歴史があるのかなどを話していただきました。そして、自分自身の境界線を見つめなおし、自分を知り、相手のゆらぎを見ながら関係性を作り上げていくということを考えました。

若者にとっての所属感と大人の信頼性

実践の基盤の中で「所属意識」が大切であると言われました。それは学校などのコミュニティで、周囲の大人や同世代の仲間に受け入れられ、肯定的に評価され、包摂され、励まされること。また、自分自身がそのコミュニティの生活や活動の重要な一部であると感じられることです。安心して自分がいられる場所、自分が自分でいられる場所がないと感じる若者は多く、そのためにさまざまな形で安心を得ようとします。しかし、一瞬の安心を得られても、そのあと襲い掛ってくる寂しさは耐えられるものではないようです。本当に安心したかった場所がどこなのかを見失い、毎日が不安でいっぱいな若者に少しでも安心してもらえるためにはどうしたらいいのかを考えさせられました。

そして、「(大人の) 信頼性」も実践の基盤です。若者は、大人（支援者）が自分たちをひとりの人間として大切に思っていて、さまざまな面で最善の関心を持ってくれているか、約束を守り、信頼できるかを知りたがっています。「また裏切られたらどうしよう」「どうせ信じてもらえないなら最初から優しくしないでほしい」といった声を聞いたことがあります。対話の実践とはこのような思いに対し、伝え続けることだと感じました。

最後に、「主体性」を構築することを学びました。「自分がどう伝えたかではなく、相手がどう受け取ったかが大切です」という言葉を聞いたとき、私たち大人が一番忘れがちなことであり、間違えてはいけないことだと感じました。

日々の会話の中で、利用者のさまざまな声に耳を傾け続け、カルーナは10周年を迎えました。カルーナを退所し、地域で生活する若者は40名を超えました。利用希望の連絡は絶えません。これからも対話を実践しながら若者と向き合い続けていきたいと思っています。

2025年度には日々のご支援の感謝を伝えるためのイベントを考えております。詳細は京都YWCAのホームページにて案内いたします。ぜひご参加ください。（山本 佳奈）



講演される毛利真弓さん

2025 年度ミッション推進活動部門運営委員会 会長あいさつ

102 回の歴史を重ね、京都 YWCA 第 103 回定期会員集会在 3 月 1 日に開催されました。今回は、本来の報告・決議に加え、「多様な人々が集う居場所 京都 YWCA」を会員で共有すべく、活動グループ発表やグループでの話し合いなども行われました。後日の運営委員会や定期会員集会準備委員会では、準備や進行に関する課題点の指摘や話し合いの目的が達成されていない等、諸々の反省点があげられました。しかし、それ以上に今年度初の試みである活動グループ発表は楽しく盛り上がりました。発表する側も観る側も有意義でエンパワーされた、話し合いは普段接することのない人とも意見交換できるよい機会だったなど肯定的な意見が多数出されました。

多数の会員・会友・賛助員が関わり開催された定期会員集会で、京都 YWCA に関わる多くの方々のつながりと活動推進に対する熱い思いや願いを感じずにはいられていませんでした。一方、定期会員集会を通して、つながりや熱い思いだけではなく、会員・会友の減少や高齢化、活動の担い手不足なども顕著に感じられました。

時代のニーズにより姿を変えてきた京都 YWCA ですが、運営委員会は時代や社会の変容に伴い、今年度から新体制になります。テーマは機動力アップと関わりの広

がりです。「YWCA のミッション」という一点でミッション推進活動に関わる委員会、会員が一致し、運営委員会が「ミッション推進活動」を支え、会員や地域にひろげていくというコンセプトです。運営委員の定数減、活動連絡協議会の設置など新たな体制が組み込まれます。試行錯誤する今年度になるかと思いますが、何度か京都 YWCA の姿を変えた先人達の知恵に学びながら、この新体制が京都 YWCA の未来にとってより良きものになるようお願い、つながりを大切に「ミッション推進活動」を支えていきたいと考えています。

どうぞご支援、ご協力をお願いいたします。

(三木 みや子)



手話サークルの発表。
全身を使ってコミュニケーションをします



運営委員会会長より
2024 年度の活動報告

「安全・安心の居場所をつくるあなたのための セーフスペースガイドブック」が完成しました！

京都 YWCA は 2023 年度と 2024 年度の 2 年間、日本 YWCA が主催する第 3 期の地域 YWCA 連携事業 (LA) に、横浜 YWCA、福岡 YWCA と共に取り組みました。「多様な人々が集う居場所づくり」と題し、食を通して居場所事業に取り組んでいる 3 つの YWCA が、互いの YWCA や地域で居場所づくりに取り組んでいる団体を訪問したり、シンポジウムを開催するなどして、誰もが安全、安心に過ごせる「セーフスペース」に必要なことは何かを模索してきました。

その成果をまとめたセーフスペースづくりのためのガイドブックが 3 月に完成しました。世界 YWCA の提唱するセーフスペースの 10 のポイントを日本の文脈に落とし込み、さらに強調したい 3 点を中心に解説とワークショップが紹介されています。さまざまな場所や状況の中で、初めてセーフスペースづくりに取り組もうとしている方にもわかりやすく構成しました。また地域 YWCA のセーフスペースとしての居場所の紹介

も巻末につけたので、実際の活動を知ることができます。携帯していただけるサイズや親しみやすいイラストもポイントです。ぜひご活用ください。

本ガイドブックは京都 YWCA のホームページで閲覧、ダウンロードしていただけます。

(京都 YWCA 運営委員会)



ウクライナの子もたちの絵画展 つながりのなかでそれぞれに平和を願う (2025年1月22日～31日、2月1日～3月1日開催)



世界 100 以上の国と地域に広がる YWCA の活動拠点として 100 年以上の歴史を持つ京都 YWCA から生みだされたあじさい保育園は、開園して 5 年が経ちました。初体験を積み重ね、保育園と会員活動をつなげる努力も継続してきた結果、YWCA が大切に守り育ててきた価値観が涵養されてきたように思います。

紫陽花のように「違いは豊かさ」と考える園の特色のひとつは、多文化に親しみ、多様性を認め合う保育です。2024 年度はテチャーナ・アンドリュックさんが出身国であるウクライナの文化を子どもたちに紹介してくれました。そんな折、東京 YWCA から、ウクライナからポーランドに避難した子どもたちがアートセラピーで描いた絵画作品の巡回展参加への呼びかけがあり、園で絵画展を行うことになりました。

テチャーナさんは祖国の戦争について子どもたちに話すことはありませんでしたが、子どもたちはウクライナが戦争していること、戦争が何をもたらすかということも知っていました。絵本を通して戦争と平和について話した後、40 点の作品から園児が選んだ 10 点を園に展示

しました。その後、会員活動を統括する運営委員会が中心となり、京都 YWCA 本館で 40 点すべてを展示する絵画展を 1 か月間実施しました。活動やプログラムへの参加者やカフェ利用のための来館者、高齢者住宅「サラーム」入居者、あじさい保育園園児も保育士の方たちと絵画展を観てくれました。

世界、日本、京都 YWCA のつながりの中で、それぞれにウクライナの人たちのことを思い、平和への願いを共有する機会になりました。

(京都 YWCA 運営委員会)



園児たちが展示作品を選びました

小学生の居場所プログラム ガジュマルの樹 知識と知恵と体験で「いのち」を守る災害講座

3 月 26 日京都 YWCA に元気な声が響きました。春休みのプログラム「ガジュマルの樹」に小学 1 年生から 5 年生まで 15 人の子どもたちがやって来たのです。

今回は「防災寺子屋・京都」の太田興さんと皆さんが、家庭や外出先で大地震に遭遇した時の自分の命の守り方、避難生活で役に立つことを教えてくれました。中学生時代から京都 YWCA で活動してきた会友でもある太田さんの防災講座ですから、話を聞いておしまい…なんていうことはありません！座学と体験を組み合わせた特別な防災講座となりました。

地震についての基礎知識、風呂敷とタオルで頭を守る防災頭巾づくり、人形、ジャッキを使い倒壊したブロックの下敷きになった人の救出劇ではピンポン玉とシートで「てるてる担架」も作りしました。お昼ご飯は限られた水を節約したパッククッキングです。

あたたかいごはんを食べると元気が回復しました。午後からは地震発生時の危機回避について考える防災町歩きをしました。太田さんと何がどんな風に危険なのかを実際に町で見つけていきました。その他にもペットボト

ルランタンづくり、消火器や発電機使用体験も。

たくさんのことを学んで体験した後にはお楽しみのおやつ時間です。でも、ちょっと待って！蛍光ローションを塗って洗った手をブラックライトで照らしてみると…洗い残しが見つかりました。手洗いがきちんとできると、避難所での感染予防につながります。盛りだくさんの講座ですっかり仲良しになった子どもたちは、清潔な手でおいしそうにおやつをもりもり食べていました。

(親・子育て支援活動委員会)



「家で避難訓練した人っている？」
命を守るための知恵を教えてくださいました。



「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業へのご支援のお願い

2023年に100周年を迎えた京都YWCAは、2014年よりさまざまな事業を通じて多様な世代と人々がふれあう「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」を進めています。これをさらに発展的に進めるために引き続きご支援をお願い申し上げます。ご寄付は事務所窓口にて、あるいは郵便振替、オンラインをご利用いただけます。

郵便振替 01080-9-1566

加入者名 公益財団法人京都 YWCA

オンラインでのご寄付はこちらから

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

活動を指定したご寄付等の詳細は事務所に問い合わせただけで、ホームページをご覧ください。
<http://kyoto.ywca.or.jp/support>



賛助員を募集しています！

賛助員となって京都 YWCA を持続的に支えていただく方を募集しています。以下のサイトからオンラインでもお支払いいただけます。

<https://congrant.com/project/kyotoywca/11953>

賛助費（年額）個人：5,000 円または 10,000 円
団体：10,000 円 / 一口



ご協力ありがとうございました

2025年2月1日から3月31日までの寄付者一覧（敬称略、順不同）

各指定寄付

*法人支援

日本キリスト教団京都丸太町教会、
太田興、小原伸子、塩見淳子、
日本キリスト教団洛陽教会アーモンド会、
日本キリスト教団平安教会、
同志社高等学校宗教部、
十九の会、瀧本泰子

*親・子育て支援活動委員会 親子ライブラリー

*APT

手島千景、岡佑里子、張善花、
日本キリスト教団洛陽教会、
安藤いづみ、ヘイナ啓子

*活動グループ 手話サークル

*多文化共生委員会
日本キリスト教団室町教会、
城下茂美

*ふれあいの「居場所」事業部委員会

若者就職支援まかない募金、
有田孝子、齋藤大輔、井上ゆかり、
御前麻里

*平和・環境活動委員会

今井貴美江

*あじさい保育園

神門佐千子

*自立援助ホーム「カルーナ」

大山悠子、ペスタロッツ保育園、
日本聖公会聖アグネス教会、
日本キリスト教団京都丸太町教会、
伊藤眞一郎、齋藤常子、井上依子、
斎藤洋子、日本キリスト教団京都丸太町教会シオン会、
日本キリスト教団京都地区・京都南部地区、
御前明美、都木かおり、匿名 1 名

*賛助費

半田淳子

今後のプログラム

◎映画観賞会

映画「穢れなき悪戯」（原題：Marcelino, Pan y Vino 上映時間：91 分）
1955 年公開のスペイン映画。修道僧たちに育てられた幼い少年のお話。主題歌「マルセリーノの唄」は日本でも大ヒット。

■日 時：5 月 19 日（月）10:30～12:00（予定）

■場 所：京都 YWCA ミニホール

■参加費：無料

■主 催：「サラーム」事業部委員会

◎水平社博物館訪問

平和と人権について共に学びます。

■日 時：5 月 31 日（土）11:30～15:30

■集合解散：近鉄橿原神宮前駅

■参加費：1,500 円、25 歳以下 1,000 円

全員で昼食後、博物館に向かいます。

交通費、昼食代は実費負担。先着 15 名。

■申 込：京都 YWCA 事務所または右記コードより

■主 催：平和・環境活動委員会



◎【予告】自立援助ホームカルーナ 10 周年記念講演会

■日 時：7 月 5 日（土）13:00～16:00（予定）

■講 師：土門 蘭さん（文筆家）

■場 所：日本基督教団 室町教会

■主 催：「カルーナ」事業部委員会

シェアカフェ（委託）募集！

京都 YWCA のヴォーリズ建築サマリア館にある居場所食堂「うららかふえ」で、京都 YWCA が委託して火曜日から土曜日の一日、ランチ提供を行ってくださる店長さんを募集しています。

お料理を作るのが好きな方、仲間と何かしたい方、将来お店を持ちたい方など、ご応募をお待ちしております。

詳細は二次元コードからご覧いただくか、事務所に問い合わせください。



3・4月／理事会報告

- 2024 年度決算処理を検討し、2025 年度予算を決定
- 京都 YWCA あじさい保育園で、3/22 に育ちを祝う会（卒園式）、3/29 に出会いを喜び会（入園式）を実施
- 3/16：関西セミナーハウスと共催でカルーナ公開講座「対話と尊重の文化を作る」を実施（本誌 P1 参照）
- 3/22：あじさい寮で新規入寮者のオリエンテーションと歓迎会を実施

- 4/20：親子ライブラリー（親・子育て支援活動委員会）が京都市中央図書館で「子ども読書の日記念お楽しみ会」に出演
- 4/26：世界 YWCA デーを大阪 YWCA と共同企画し、ハイブリッドで開催

KYOTO YWCA No.586 2025 年 5 月号（5月1日発行）

発行人：山中あかね

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075)431-0351

FAX：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：（公財）京都 YWCA

定 価：1 部 50 円

発 行：奇数月 1 日発行